

令和4年8月31日



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.6 (65号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

夏の思い出を胸に

中学部副校長 梶ヶ谷 朋恵



夏休みが終わり、2学期を迎えました。休み前に考えていたことや、できたらいいなあと思っていたことは、実践できたでしょうか。「充実感を持って終えた夏休み」だった人も、「悔しさや物足りなさの残る夏休み」だった人もいることでしょう。

西金沢学園の夏休みは、小学部の夏季水泳教室で始まり、続いて中学部の部活動の大会が次々と行われました。中学校生活最後の大会や本番を全力で頑張った9年生もたくさんいたと思います。水泳教室そのもの、大会そのもののでできなかった年もあった中で、通常の学校生活が少しずつ戻ってきた夏休みでした。しばらくぶりに実施できたものの一つに、金沢高校学習会があります。小学部・中学部の希望者が集まり、金沢高校の高校生を数名ずつ迎えて、勉強に取り組む2日間。小学生と中学生が共に生活をしている西金沢学園で、さらに高校生とも交流がはかれるという、貴重で嬉しい時間です。例年、小中学校の教育に関心をもっていたり、将来教育関係の道を目指していたりする高校生や、小中学生と交流することをとても楽しみにしている高校生などがこの行事に参加しているとのことで、金沢高校としても貴重な交流の機会と捉えてくれているようです。改善点があれば改善しながら、今後も続けていける行事になるとよいですね。

さて、小学生や中学生のときの夏休みは、「充実感」たっぷりでも、「悔しさや物足りなさ」たっぷりでも、大人になってからもよく覚えているという人が多くいます。毎日学校に通う日常から、これから40日間の非日常をどうやって過ごそうかと思えめぐらすワクワク感は、学生時代の今だからこそ味わえるものだと思います。その強い期待があるからこそ「充実感」も「悔しさ」も「嬉しい気持ち」も「残念な気持ち」も思い出に残るのだと思います。色々な気持ちを味わった思い出を胸に、また次の一歩につなげていってほしいです。

それにしても、今年の夏は暑かったですね。北海道生まれで暑さに弱い私は、気温が高い日が続くととても後ろ向きな気持ちになります。そんな中、趣味の歌の本番が目白押しだった今年の夏(～秋)は、仕事や研修の隙間を縫って、グループでの練習や予約したスタジオでの個人練習をしながら、本番までのカウントダウンを楽しんだ夏休みでした。夏の暑さを吹き飛ばすためにはビールやかき氷も嬉しいですが、何といたっても楽しい予定や目標に向けて、動いているワクワク感にはかなわないなあと思います。西金沢学園では、次の行事や学習の山場が目白押しの2学期です。さあ、また皆で「動こう」!

<お知らせ>

- 8月分の給食費は、9月分とあわせて9月29日に徴収させていただきます。ご確認ください。
- 本校では、「にしかな学援隊」の活動として、「校内の見守り活動」を行っています。近年、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行えていませんでしたが、校内での見守り活動を再開いたします。来校された際に校内の見守りをお願いいたします。見守りを行っていただく際には、職員室前の記録簿にご記入いただき、にしかな学援隊の腕章を着けて、小学部、中学部を問わず、全校の児童・生徒の安全を見守っていただきたいと思います。腕章の数が足りない場合は、名札のみでも構いません。見守りの際にお気づきになられたことは、本校の職員にお伝えいただけますようお願いいたします。